服装における女らしさ について

第1報 女らしさの評価と好みの 傾向

高 林 恒 子*
中 沢 乃 智 子**
中 川 早 苗***

1. 緒 言

人は服装によりフェミニンにもマニッシュにも、又、ドレッシーにもスポーティにも変身が可能である。これは着装する衣服が見る人に何らかの感情や意味を伝えると同時に、着用する人自身の心や行動にも、スポーティな服装では活動的に、ドレッシーな服装ではしとやかにといった変化をもたらすからである。人々が日々着装に何らかの変化を心掛けるのはこれらの相互作用により別の個性を表現することが出来るからである。このような服装における表現効果は、男女の役割分担や職業意識の変化、価値観の多様化に伴い服装の多様化が進んだ結果、一層複雑になっているのではなかろうか。中でも男女の性表現においてはユニセックスやペアルックなど中性化する一面、ボディコンシャスのシルエットで女らしさを強調する傾向もみられ、「女らしさ」に対する評価や基準も多様化しているように思われる。本研究では若い女性がどんな服装に「女らしさ」を感じるのか、「女らしさ」を評価する基準は何か、又、「女らしさ」の評価を左右するデザイン要素は何かを明らかにするために調査を行い検討を試みた。本

On the Womanliness of Clothings.

Part 1 : Evaluation and Tendency of Preference to the Womanliness

By Tsuneko Takabayashi*, Nachiko Nakazawa**
and Sanae Nakagawa***

*Kenmei Junior Women's College, Himeji.

**Seibo Junior Women's College, Kyoto.

***Nara Women's University, Nara

As the rôles of men and women, and the attitude toward occupations are changing and the sense of values is being diversified, clothes are also being diversified today. A study has been made to investigate what kind of clothes is felt womanly by young women, and how young women evaluate womanliness as well as the tendency of their preference for the type of clothes. In the study, pictures of fifty types of clothes have been shown to 562 girl students in Kinki area. The womanliness of each sample and the degree of preference to each sample have been evaluated. Answers on physical characteristics and their nature which might affect their preferences have also been gained.

Those which have been felt to be of adult woman and city sense are evaluated high and preferred very much. Pants style is evaluated low as womanliess. There is a variety of preference for the clothes which are evaluated lower as womanliness. Womanliness is considered as a favorable image. It is recognized that one's favorite depends rather on one's nature than on one's physical characteristics, and is also affected by the fashion. (Received 10, Sept., 1987)

報では服装サンプルの写真をもとに「女らしさ」の評価と「好き嫌い」の傾向について調査し検討を行った。

2. 方 法

2.1 予備調査

① 服装サンプルの選定

服装における「女らしさ」を測定するためのサンプルを調査対象者がよく見られると思われる服装雑誌(JJ, anan, nonno), 等の最新号の写真の中から、

* Tsuneko Takabayashi, 賢明女学院短期大学

** Nachiko Nakazawa, 聖母女学院短期大学

*** Sanae Nakagawa, 奈良女子大学

図1 女らしさの測定尺度

特定の場面で着用するものを除き、日常よく着用する衣服を、季節も初夏から初秋に限定して80種選んだ。これらのサンプルは出来るだけ顔や持ち物、アクセサリー、靴を除き衣服だけが見えるようにカットしてグレー（日本色研4.5）の台紙にはり約30名の被験者により予備調査を行った。

② 測定尺度の作成

一般に「女らしい」の対語として「男らしい」があげられるが、服装における「女らしい」の対語が「男らしい」であるのか、一次元性があるのか、あるいは二面性があるのではないかと、という検討も含めて、予備調査では、図1に示すような両方の尺度を用いて評定させた。

③ 結果

80種の服装サンプルに対する評定結果に1点から7点までの得点を与え「女らしさ」の評定平均値と標準偏差を求め、評定のバラツキの大きいものを除き、「非常に女らしい」から「全く女らしくない」まで、できるだけ服装サンプルが等間隔になるように50サンプルを選んだ。本調査にはこれらのサンプルの大きさを一定にするためにスライドを作成して用いることにした。測定尺度についても、「女らしい」と「男らしい」の相関をみた結果 -0.61 で負の相関が得られたため、評定のしやすさも考慮に入れて、本調査では「女らしい」のみの項目で測定することにした。

2.2 本調査

① 調査の概要

調査対象者：近畿地区の女子大生、女子短大生
562名

調査時期：昭和61年10月中旬～11月中旬

調査方法：集合調査法、クラス単位で50サンプルのスライド写真を示し質問用紙に回答させる。

調査項目：服装の女らしさ、好き嫌い、被験者

の身体的特徴、性格、職業観、年令、出身地。

② 集計・分析方法

50の服装サンプルに対する「女らしさ」の7段階評定の結果に、1点から7点までの得点を与え、平均値を算出した。同じように「好き嫌い」に対する7段階評定の結果についても得点化し、平均値を算出した。

3. 結果及び考察

3.1 女らしさの評価と好みの傾向

表1は調査対象者の年令と出身地を示したものである。図2は、調査に用いたサンプル写真を「女らしい」の評価平均値の高い順に並べたものである。表2は女らしさの評価の高いもの、低いものそれぞれ10点について好みの評価得点をまとめたものである。図3は「女らしい」の評価平均値の高い順に平均値をプロットして並べ、それに「好き嫌い」の評価平均値を合わせたものである。この図からも明らかのように、「女らしい」と評価の高い1位から6位までの中に「好き」と評価された1位から5位までが含まれており、この相互の評価平均値の相関係数は 0.60 でかなりの相関が見られた。又、「女らしい」の評価平均値4以上での相関係数は 0.75 と非常に高い結果が得られた。上位6位までのサンプルを個別に検討してみると、

・「女らしい」の1位 上品な女らしさが感じら

表1 調査対象者の年令と出身地

年 令	人数	%	出 身 地	人数	%
18才	148	26.3	六大都市	90	16.0
19才	292	52.0	その他の都市	349	62.1
20才	93	16.5	郡 部	117	20.8
21才以上	26	4.7	その他	1	0.2
無回答	3	0.5	無回答	5	0.9

図2 サンプル写真(女らしさの評価得点順位, 左上から右へ配列)

れるワンピース。

「女らしさ」の平均値 5.88

「好み」の平均値 4.81で第2位

・「女らしい」の2位 女っぽいイメージのサッ

シュベルト付きのブラウスとタイトスカート

「女らしさ」の平均値 5.76

「好み」の平均値 4.59で第4位

・「女らしい」の3位 ボディコンシャスな女っ

順位 サンプル

図3 女らしさ(評価得点順)と好き嫌いのプロフィール

表2 女らしさの上位、下位10位に対する好き嫌いの評価得点

上位										
女らしさの 順位	サンプル No.	評価別出現頻度 %							平均	S D
		7	6	5	4	3	2	1		
1	7	10.8	21.7	31.7	18.3	12.5	3.9	1.6	4.81	1.37
2	8	7.8	18.0	30.4	20.3	17.6	4.6	1.2	4.59	1.36
3	31	10.7	19.6	35.6	18.0	12.3	2.7	1.2	4.85	1.31
4	23	8.9	13.0	25.1	22.2	17.4	7.8	5.0	4.28	1.59
5	32	8.5	19.0	29.2	19.2	14.2	6.4	3.2	4.56	1.47
6	38	8.2	21.9	30.4	19.8	13.7	4.1	2.0	4.71	1.38
7	46	7.5	14.9	30.6	20.6	14.9	7.3	3.9	4.41	1.50
8	20	7.5	11.9	21.0	20.5	18.5	14.4	6.0	4.01	1.64
9	14	4.8	14.9	30.2	24.4	16.0	6.6	3.0	4.36	1.38
10	13	3.2	12.3	34.9	25.1	16.4	5.7	2.3	4.34	1.28

下位										
女らしさの 順位	サンプル No.	評価別出現頻度 %							平均	S D
		7	6	5	4	3	2	1		
41	29	0.9	2.7	12.1	18.0	26.9	23.8	15.3	2.98	1.39
42	42	2.0	5.0	18.7	25.1	24.4	14.9	10.1	3.50	1.44
43	45	3.7	11.2	26.0	22.8	20.5	10.0	5.7	4.01	1.48
44	30	0.7	1.1	9.6	15.3	26.0	24.7	22.6	2.71	1.35
45	12	0.9	5.3	11.7	18.9	27.8	22.6	12.3	3.13	1.43
46	9	6.2	12.8	30.8	23.8	12.8	9.1	4.3	4.31	1.48
47	5	4.8	17.3	33.5	20.8	12.3	8.4	2.7	4.44	1.42
48	21	3.0	9.8	20.3	23.5	17.1	15.5	10.7	3.68	1.60
49	15	0.5	2.3	7.1	13.9	25.8	27.8	22.6	2.64	1.33
50	48	2.3	4.1	17.1	26.2	23.1	14.4	12.3	3.41	1.48

ばいワンピース。
「女らしさ」の平均値 5.64
「好み」の平均値 4.85で第1位
・「女らしい」の4位 お嬢さんばいイメージのワンピース。
「女らしさ」の平均値 5.56
「好み」の平均値 4.28で第14位
・「女らしい」の5位 女っぽい感じのワンピース。
「女らしさ」の平均値 5.49
「好み」の平均値 4.56で第5位
・「女らしい」の6位 女っぽいイメージのブラウスとタイトスカート。
「女らしさ」の平均値 5.40
「好み」の平均値 4.71で第3位
以上のような結果が得られた。これらのサンプルから「女らしい」のイメージとして、女っぽいもの、色っぽいもの、シンプルで洗練された都会的なものが「好み」で高い評価を得ており、洗練された大人

の女らしさを感じられるものが好まれていることがわかる。これは今流行のボディコンシャスな傾向が好みに現われているといえよう。
次に「女らしい」の評価が低いもの、図3で下位にあるものを検討してみた。
・「女らしい」の50位 デニムのジャンパー、コーデュロイのズボン、Tシャツの組み合わせ。
「女らしさ」の平均値 2.58
「好み」の平均値 3.41で40位
・「女らしい」の49位 マリンルックと見られるズボンとシャツ。
「女らしい」の平均値 2.64
「好み」の平均値 2.64で50位
・「女らしい」の48位 だらしない感じのズボンと上衣
「女らしさ」の平均値 2.64
「好み」の平均値 3.68で31位
・「女らしい」の47位 男の子のような子供っぽいシャツと半ズボン。

「女らしさ」の平均値 2.93

「好み」の平均値 4.44で7位

- 「女らしい」の46位 47位のサンプルに似た子供っぽいスタイル。

「女らしさ」の平均値 3.15

「好み」の平均値 4.31で12位

以上の「女らしい」の評価が低いサンプルはいずれもパンツスタイルである。又サンプル中のすべてのパンツスタイルが「女らしさ」の評価の24位以下に属し、その中で「女らしい」の平均値4以上の評価を得ているものはいずれも細みの女性の曲線を表現したアースカラーのすっきりしたパンツスタイルである。以上の点から元来男性の衣服であったパンツが女性の衣服として用いられるようになった今日

でも、パンツは女らしくないと評価される要因の1つと考えられる。

次に「女らしい」と評価されながら「好み」の評価の低いものについてみてみると、装飾過剰や複雑な多色使いの重苦しいプリント柄、着用場面の設定が困難、平凡な淡い色使い、流行遅れ等が原因と思われる。

又、「女らしい」の評価が低いもの（「女らしい」の評価平均4以下のもの）に、「好み」の評価に大きな差異がみられるが、パンツでもすっきりした無地の大人らしいスタイルのものや反対に若い人々のみが街着として着用可能と思われるキュロットやゆったりしたやや短い丈のサスペンダー付きのパンツが好まれている。ジョッドプアーズやプリント柄の

図4 女らしい服(1位から10位)の好き嫌いと身体的特徴、性格との関連

図5 女らしくない服(41位から50位)の好き嫌いと身体的特徴、性格との関連

ペダルブッシャー等流行に左右されやすいスタイルのパンツが嫌いと評価されている。

3.2 好みと身体的特徴、性格との関連について

次に女らしい服を好むものと好まないものと女らしくない服を好むものと好まないものそれぞれについて身体的特徴や性格との間に差異がみられるかどうか検討を行った。

図4は女らしい服(上衣10位まで)を好むグループ、好まないグループとそのどちらでもないグループの3つのグループ別に身体的特徴と性格の評価平均点をプロットしたものである。3つのグループわけについては、女らしさの評価の高い上位10位まで

のサンプルに対する好みの得点をもとに40点以下を①女らしい服を好まないグループ、50点以上を②女らしい服を好むグループ、41～49点を③どちらでもないグループとした。女らしい服を好むグループと好まないグループの間に有意差のあった項目は χ^2 検定の結果、身体的特徴では背が高いか低いか、性格では積極的か消極的か、ロマンチックか現実的か、大人っぽいか子供っぽい、従順か反抗的か等である。図5は女らしくない服(下位41位から50位)を好むグループ、好まないグループとそのどちらでもないグループ間の有意差があるかどうか同様に検定を行った。女らしさの評価の低い下位の10位までのサンプルに対する好みの得点をもとに30点以下を①女らしくない服を好まないグループ、40点以上を②

女らしくない服を好むグループ、31～39点を③どちらでもないグループとした。その結果身体的特徴ではヒップが大きいかわさいか、性格では地味か派手か、大人っぽいかわさいか等により有意差が認められた。以上の結果から女らしい服を好む人は、自分の特徴を背が高く性格的には消極的でロマンチックで大人っぽくて従順だと答えている人が多い。又、女らしくない服を好む人は自分の特徴をヒップが大きく地味で子供っぽいと答えている人が多い。

4. 結 言

以上の結果を総合すると、「女らしい」と評価の高いものほど「好み」の評価も高く、「女らしい」

の評価の低いものほど「好み」の評価に大きな差異がみられた。服装の多様化に伴って好みも多様化しているとはいえ若い女性にとって、女らしい服装は今日でも好ましいイメージとして高く評価されているといえよう。又、好みの評価の高いものをみると、ボディコンシャスなものなど今流行しているものが多く、好みがその時の流行に大きく左右されるものと思われる。

女らしい服装に対する好き嫌いを左右すると思われる身体的特徴や性格との関連について χ^2 検定を行った結果、身体的特徴よりも性格との間に有意な差異がみられた。

海外資料研究部会入会ご案内

世界各国の繊維技術情報を

より早く、より広く、より正確に把握するために

海外資料研究部会へご入会下さい

本学会海外資料研究部会におきましては、海外各国から、我国にもたらされる、繊維に関する数多くの情報を遂に一検討し、それらを工程別、分野別に分類、整理の上、速やかに訳出し、「海外繊維技術文献集」を通じて定期的におとどけしています。

世界各国における研究状況、技術開発及び市場動向等、いち早くその関連業界の流れを的確に把握するため、本研究部会へのご入会をおすすめします。

事 業 内 容

1. 海外文献、資料の蒐集整備

海外各国より毎月100数種の文献、資料、所報、社報、カタログ等を入手しており、これらの整備充実をはかり、その内容を訳出して会員に紹介しています。

2. 海外繊維技術文献集（月刊）の刊行

毎月入手する多数の文献や資料等をそれぞれの分野の専門の委員によって、工程別に分類、整理のうえ、速やかに訳出して紹介する海外繊維文献抄録と、繊維並びに繊維機械に関する基礎的研究論文、実際研究及び新製品や新しい技術の紹介等、比較的重要と思われるものについては全訳して紹介する海外繊維技術文献集を合冊して、機関誌として定期的におとどけします。

編集、訳出、査読等は下記委員をはじめ、全国各大学、研究所並びに会社所属の専門の方々に依頼し、その正確流畅を期しています。

3. 海外文献紹介講演会、座談会の開催

海外文献に掲載されたもののうち注目すべきもの、あるいは海外で行われた講演会、シンポジウム並びに見本市等につき、随時紹介講演会、座談会を開催します。

4. 海外文献、資料の複写頒布

会員に限り、本会所有の文献、資料の複写頒布を行っています。

5. 申込方法

申込書をご請求下さい。

購読料 1部1,500円、部会費（割引購読料）年間12,000円

〒550 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル

日本繊維機械学会 海外資料研究部会 (TEL. 06-443-4691, FAX. 06-443-4694)